

第7次府中市総合計画重点プロジェクト 事務事業への意見等に関する対応案

	事務事業名 (総合計画の該当ページ)	事務事業内容	アウトプット指標(主たる予算事業の事業計画量)					アウトプット指標に関する委員からの意見	意見への対応内容(指標の説明)	参考資料	担当課	
			項目名	基準値 (R3)	計画値							
					(R4)	(R5)	(R6)					(R7)
1	感染症対策事業 (P69)	市民生活や地域経済に及ぼす影響を最小とすることを目的として、新型インフルエンザ等特別措置法に基づく、感染拡大防止のための取組を実施します。	住民接種実施計画の見直し(回)	1	1	1	1	1	二つの指標項目に分けた方がよいのではないが、	ご意見のとおり、指標項目を次の二つに分けました。 ・住民接種実施計画の見直し(回) ・机上訓練等の実施回数(回)	健康推進課	
		机上訓練等の実施回数(回)	1	1	1	1	1					
2	介護保険サービス事業者の感染症対策事業 (P99)	介護サービス事業所で感染症が発生した場合、国や都から示されている留意すべき対策などについて情報提供します。また、感染症対策に関する事業者からの相談に応じるとともに、保健所や関係課と連携して感染拡大防止についての助言を行います。	感染症発生時における介護保険サービス事業者への助言件数(件)	113	113	113	113	113		主な事業種別は、通所介護(15件)、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)(14件)、訪問介護(14件)、地域密着型通所介護(13件)。	介護保険課	
3	防災資材等整備事業(感染症対策物品) (P131)	災害時における非常食などの備蓄品を定期的に購入するとともに、風水害時に必要となる資機材や感染症対策のための物品を拡充し、災害発生時の態勢を整備します。	感染症対策物品の備蓄割合(%)	100	100	100	100	100			防災危機管理課	
4	災害時医療体制等整備事業 (P71)	医療機関、医師会、歯科医師会及び薬剤師会と協働・連携し、災害時の医療体制を整備・強化します。	府中市緊急医療救護所運営マニュアルの見直し(回)	1	1	1	1	1	二つの指標項目に分けた方がよいのではないが、	ご意見のとおり、指標項目を次の二つに分けました。 ・府中市緊急医療救護所運営マニュアルの見直し(回) ・机上訓練等の実施回数(回)	健康推進課	
		机上訓練等の実施回数(回)	1	1	1	1	1					
5	防災意識啓発事業 (P131)	「自主防災ふちゅう」の配布等により市民の防災意識の向上を図るとともに、文化センター・圏域自主防災連絡会の活動促進や、当該連絡会が組織化されていない圏域における気運醸成を図ります。	防災訓練の実施回数(回)	59	70	80	90	100		自治会や学校、企業など地域での防災訓練の実施回数。	防災危機管理課	
			防災知識講座の実施回数(回)	6	10	12	14	15		府中市生涯学習ふちゅうカレッジ出前講座の実施回数(R3は震災編2回、風水害編4回の計6回)。	防災危機管理課	
6	防災資材等整備事業(災害用備蓄品) (P131)	災害時における非常食などの備蓄品を定期的に購入するとともに、風水害時に必要となる資機材や感染症対策のための物品を拡充し、災害発生時の態勢を整備します。	市民に対する備蓄食糧の割合(%)	100	100	100	100	100			防災危機管理課	
7	コミュニティ圏域内地域交流促進事業 (P149)	地域住民の交流と触れ合いの機会を提供し、地域への愛着につながるよう、各文化センター・圏域コミュニティ協議会との協働により、イベント等を開催します。	コミュニティ圏域事業実施数(件)	135 (R4)	135	138	138	138	基準値の内訳、計画値の設定根拠を確認したい(資料を共有してもらいたい)。	参考資料のとおり。	P1 地域コミュニティ課	
8	文化センターの老朽化対策事業 (P149)	公共施設マネジメント推進プランに基づき、老朽化の著しい文化センターの改修や改築について検討を進め、文化センターあり方検討協議会において今後の文化センターに必要な機能等について協議します。	老朽化対策事業に着手した文化センター数(か所/累計)	0	0	1	2	3	事業内容と指標の整合性が取れていないのではない(協議回数の指標に変更する、あるいは協議回数とそれに連動して老朽化対策に着手した文化センター数の二つの指標に分けてはどうか)。	協議会は令和4年度で終了したため、協議回数を指標にするのは困難と考えています。	P2 地域コミュニティ課	
9	介護予防推進センター事業 (P81)	介護予防推進センターについて、介護予防の講座や教室を充実させるとともに、地域包括支援センターにつないでいく介護予防の拠点としての役割も強化し、高齢者が住み慣れた地域で自立し、健康で暮らし続けられるよう支援します。	介護予防サポーター育成研修実施回数(回)	72	75	78	81	84		基準値の内訳は次のとおり。 ・ひろめ隊育成研修 8回 ・同スキルアップ研修 46回 ・運動普及員育成研修 1回 ・同スキルアップ研修 16回 ・文化交流普及員育成研修 1回 計画値は、高齢者の介護予防施策の充実を図る必要があることから、現実的な可能性を考慮した増加目標としています。	高齢者支援課	
10	地域包括支援センター事業 (P83)	高齢者とその家族が適切なサービスを選択・利用できるよう、地域包括支援センターを中心とした相談支援体制の充実、センター間の情報共有の徹底、さらには地域の保健、医療、福祉関係者とのネットワークづくりの充実を図ります。	地域包括支援センター相談受付件数(件)	47,745	48,000	49,000	50,000	51,000		基準値の内訳は参考資料のとおり。 計画値は近年の傾向を踏まえて設定しています。	P3-4 高齢者支援課	
11	地域福祉コーディネーター事業 (P105)	身近な地域における相談機能を強化するため、各福祉エリアに地域福祉コーディネーターを配置し、困りごと相談会を実施するとともに、地域の多様な主体が連携して地域課題の解決に取り組むための調整を図ります。	困りごと相談会(週3日以上)の実施会場の数(か所)	1	3	5	7	9		令和3年度から8年度を計画期間とする地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画、福祉計画において、文化センターを中心とした相談機能の充実を掲げています。地域福祉推進課としては、1年に2か所ずつ増加させ、計画最終年度の令和8年度までに、全ての文化センター(11か所)での地域福祉コーディネーターの常駐化を目標としています。	P5 地域福祉推進課	

	事務事業名 (総合計画の該当ページ)	事務事業内容	アウトプット指標(主たる予算事業の事業計画量)					アウトプット指標に関する委員からの意見	意見への対応内容(指標の説明)	参考資料	主担当課	
			項目名	基準値 (R3)	計画値							
					(R4)	(R5)	(R6)					(R7)
12	市庁舎建設事業の着実な遂行 (P225)	品質や安全等を確保しながら、効率的で円滑な工事の実施に努めるとともに、本体工事のほかに必要となる関連工事や、初年度備品の購入、執務室の移転等、新庁舎の供用開始に向けた関連事業を着実に推進していきます。	新庁舎建設の工事進捗率(%)	12.6	39.6	49.0	55.0	85.2			新庁舎建設推進室	
13	リサイクルプラザ管理運営事業 (P125)	燃やさないごみや粗大ごみの分別処理を徹底するなど、適正な処理と継続的かつ安定的な施設の管理運営に努めます。また、施設の老朽化に伴い、計画的な整備を進めます。	新施設整備の進捗率(%)	0	0.5	0.7	3.9	25.8			資源循環推進課	
14	地域子育て支援(子育てひろば等)事業 (P73)	子ども家庭支援センター「たち」しらとり、地域子育て支援センター「はく」などにおいて、親子が気軽に交流や相談できる場を提供するほか、子育て講座、イベント等の啓発活動を実施します。また、市立保育所(基幹保育所)を拠点として、地域の市施設等の社会資源を活用しながら、保育士への相談や保護者同士の情報交換、親子の交流ができる場を提供します。	地域子育て支援拠点(子育てひろば)の事業実施日数(日)	4,561	4,334	4,343	4,335	4,805	基準値の内訳、計画値の設定根拠を確認したい(資料を共有してもらいたい)。 ひろば事業の具体的な内容を確認したい。	参考資料のとおり、子育てひろばは、親子で気軽に立ち寄り、親と子あるいは子ども同士で手遊びや歌を一緒に歌うなど楽しく遊んで交流を深めることができる場所です。また、子育ての悩み事の相談や、情報交換など親同士の交流を深めることもでき、経験豊富なスタッフがいますため、育児相談も行うことができます。さらに各子育てひろばでは、育児講座やワークショップなどのイベントも定期的には実施しています。	P6	子育て応援課
15	子育て世代包括支援センター事業 (P75)	母子健康手帳交付時の面談により、個別の状況を把握し、妊娠期からの継続的な情報提供や相談支援を行います。また、研修会等を実施して関係機関との連携強化を図り、支援体制の充実及び虐待防止の普及啓発を行います。	妊婦面談の面談実施者数(人)	1,636	1,621	1,605	1,590	1,575			P7	子ども家庭支援課
			児童虐待防止普及啓発活動回数(回)	2	5	6	7	8			P8	子ども家庭支援課
16	母子健康づくり支援事業 (P75)	適切な時期に乳幼児の各種健診を行い、発育と発達の確認及び疾病の早期発見と早期治療につなげる保健指導を行います。また、各種講座を実施し、母子の健康づくりを実践できるよう支援するほか、学校等と連携し、命の大切さなどを学ぶ性教育講座を実施します。	新生児訪問実施実数(人)	1,600	1,767	1,745	1,725	1,704			P7	子ども家庭支援課
			1歳6か月健診受診者数(人)	1,796	1,767	1,745	1,725	1,704			P7	子ども家庭支援課
17	福祉型児童発達支援センター整備事業 (P91)	日常生活における基本的動作、必要な知識や技能、集団生活への適応のための訓練等及び相談支援、家族・地域支援を行う児童発達支援に関する中核施設を整備・運営します。	市内における福祉型児童発達支援センターの設置数(件/累計)	0	0	0	1	1				障害者福祉課
18	教育相談・教育支援事業 (P169)	心理相談員やスクールソーシャルワーカーによる相談・支援を進めるとともに、多様な相談に対して適切に対応するため、相談・支援体制の充実を図ります。また、不登校児童・生徒の実態に配慮した教育を実施するため、不登校特例校の設置を進めるほか、ICTを活用した学習支援を行っていきます。	就学相談、教育相談に対応する職員数(人)	20 (R4)	20	20	20	20	不登校対策は、この指標では測れないのではないが、事業の具体的な内容を確認したい(ICTを活用した学習支援は、オンライン授業を実際に実施していく考えなのか。また、不登校特例校の設置を進めるにあたり、どのように進めるのか。例えば、まずは各学校に小さくても教室を設置する、スクールカウンセラーの部屋を活用する、あるいは人材をどのように確保していくか、など具体的な内容を確認したい)。	不登校対策についてアウトプット指標は設定していませんが、総合計画169ページ上段にアウトカム指標(不登校児童・生徒の主現率)を設定しています。当該指標は、教育相談・教育支援に係るアウトプット指標となっています。 ICTを活用した学習支援は、授業の配信やeライブラリを活用した学習、googleクラスルームからの課題の提出等を行っています。特例校については、教育センターの移転に合わせ、新教育センター内に設置します。今後入室に係る制度設計、教育課程の編成、人材の確保等の検討を行っています。		指導室
19	学習指導等の充実 (P167)	生涯を通して健全な生活を送ることができるよう、子どもたちに確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく育むため、各教科の学習はもとより、食育等の健康教育、人権教育、環境教育、キャリア教育や学校行事等の内容の充実にも取り組みます。	外国語活動指導助手(ALT)を活用した授業の実施(校)	33	33	33	33	33				指導室
			食育事業の実施校数(校)	15 (H25-R1の平均)	17	17	19	19			基準値の内訳は、小学校12校、中学校3校です。全校実施を目標に学校への働きかけを強化するもの、受け入れは学校次第であり、毎年実施がないこともあるため、段階的な増加を目指すものとしています。	

	事務事業名 (総合計画の該当ページ)	事務事業内容	アウトプット指標(主たる予算事業の事業計画量)					アウトプット指標に関する委員からの意見	意見への対応内容(指標の説明)	参考資料	担当課	
			項目名	基準値 (R3)	計画値							
				(R4)	(R5)	(R6)	(R7)					
20	学校組織・人材支援事業 (P167)	教員の育成を目的とした研修の実施や、教員をサポートし、学校の運営を支援するための支援員の配置、ワーク・ライフ・バランスの推進を行います。また、地域との連携を推進するため、各学校で学校運営協議会(文部科学省版コミュニティ・スクール)又はスクール・コミュニティ協議会(府中版コミュニティ・スクール)の取組を展開します。	指導主事の校内研修等への派遣回数(回)	15 (R4)	15	18	21	25		基準値は令和4年度訪問見込み回数です。今後、指導主事の各校への講師等としての派遣回数は増やしていく方針であるため、現実的な見込み数を記載しました。		指導室
			中学校における部活動外部指導員の配置人数(人)	148	148	155	155	155				
21	教育財産の管理と活用 (P171)	小・中学校の施設・設備を常に良好な状態において管理し、その目的に応じて効率的に運用していきます。また、ICTを活用した教育を推進するための基盤となる環境を整備していきます。	ICT支援員の学校訪問回数(回)	1,980	2,000	2,000	2,000	2,000		委託契約で「年60日以上」の訪問サポートが可能な支援体制を確保すること、という仕様としています。このため、基準値は60日×33校=1,980日、計画値は「年60日以上」という仕様の部分で毎年契約業者と協議し、各校の行事等の支援を充実できるよう調整していくため、2,000日としています。		教育総務課 指導室
			学校で使用する備品の購入数(個)	418	420	420	420	420				
22	学校施設老朽化対策事業 (P171)	学校施設改築・長寿命化改修計画に基づき、老朽化対策として、学校施設の改築を進めています。改築に当たり、バリアフリー化を含む、ユニバーサルデザインに配慮するとともに、災害時における避難所運営も見据えた整備を行います。	改築・長寿命化改修計画に示した整備スケジュールにおける校舎及び体育館の改築が完了した学校の進捗率(%)	0	50 (八小・一中校舎及び体育館竣工)	50 (三小・六小工事着手)	100 (三小・六小校舎及び体育館竣工)	100 (八小・一中・三小・六小の計4校)				学校施設課
23	けやき並木周辺整備事業 (P191)	けやき並木通り周辺の安全な歩行者空間を確保するため、既存道路の拡幅や新設道路の整備を行います。	数値で事業計画を表すことが困難であるため、アウトプット項目の設定は行わない。					指標の数値設定ができないのであれば、こういう状態に変化するといった、現状から差分を文章で記載するなどの対応もあるが、できれば数値で示してほしい。	用地買収を前提とした事業であり、各地権者の個々の事情が事業の進捗に大きくかわかることから、事業計画を数値で示すことは困難であると考えています。	P9-10	道路課	
24	中心市街地活性化ビジョン推進事業 (P191)	にぎわいの創出に向け、中心市街地活性化ビジョンに基づく各種取組を展開します。	けやき並木通りの活用日数(まちづくり府中主催・共催・後援のイベント等)(日)	39 (R4)	39	41	43	45	基準値の内訳、計画値の設定根拠を確認したい(資料を共有してもらいたい)。 共催・後援のイベントについては、実施・開催によって得られる果実が指標として設定されていたほうが進捗管理や評価には役立つと考える。 アウトカム指標の設定	基準値の内訳は参考資料のとおり、計画値はH31年度のイベント実施回数と比較し、年間2件程度のイベント増加が妥当だと判断しました。 H31年度イベント回数：11回(ラグビーW杯が実施されたためスポーツPVイベントが9回と多かったため、PVを他年度と同等数の5回で計算) R4年度イベント回数：13回(ストリートテラス除いたイベント回数 ストリートテラスはH31年度実施していないため) アウトカム指標の設定については、協議会でご協議いただきたいと思ます。	P11	産業振興課
25	武蔵国府跡保存活用事業 (P159)	にぎわいと魅力のあるまちづくりにつながるよう、国史跡武蔵国府跡(国司館地区)の第二期整備を計画的に進めます。	国史跡武蔵国府跡を活用した事業実施件数(件)	8	45	50	55	60		学校団体見学・一般団体見学・集客イベントの総数で設定しています。令和3年度は新型コロナの影響で8件(5件・2件・1件)でしたが、令和4年度以降は、学校団体見学・一般団体見学を中心に増加を想定しています。		ふるさと文化財課
26	分倍河原駅周辺整備事業 (P189)	駅舎の改良や老朽化した南北線橋の架け替え、駅前に歩行者が溜まれる空間の確保などハード整備の着手に向けた準備を進めるとともに、快適でにぎわいのある商店街の形成や良好な居住環境を保全するためのルールづくりなど、ソフト面の取組を着実に展開していくため、地域住民や交通事業者等との協議・検討を進めます。	都市・地域交通戦略に掲げる12施策の中で、用地交渉または整備に着手する施策数(施策/累計)	2	3	4	9	9	地域住民や交通事業者等との協議・検討を実施した回数もアウトプット指標として計画すると、その結果が現在挙げられている「都市・地域交通戦略に掲げる12施策の中で、用地交渉または整備に着手する施策数(施策/累計)」の理解や進捗管理にも役立つと考える。	協議・検討を実施した回数は、施策の進捗と必ずしも関連があるとは言えないため、指標としていません。	P12	まちづくり拠点整備推進本部
27	総合体育館移転関連事業 (P163)	移転に向け、新しい総合体育館に係る整備方針等を策定します。	数値で事業計画を表すことが困難であるため、アウトプット項目の設定は行わない。					指標の数値設定ができないのであれば、こういう状態に変化するといった、現状から差分を文章で記載するなどの対応もあるが、できれば数値で示してほしい。	現在、総合体育館の移転先である府中基地跡地留保地に係る利用計画を見直す方向性で検討が進んでおり、移転時期が延伸する可能性など、当該移転に向けたスケジュールの根幹(基礎)部分となる計画が確定していない状況であり、具体的な数値目標を策定することが難しい状況であることから、指標等については文章での記載を検討していきます。		スポーツタウン推進課	
28	府中基地跡地留保地周辺地区まちづくり事業 (P189)	府中基地跡地留保地の土地利用の推進に向け、国の土地処分に係る必要な手続を進めるとともに、留保地の整備及び周辺地域を含めた、まちづくり体制の構築に向けた準備・取組を進めます。	施策の推進に向けた関係機関との協議実施回数(回)	4	4	4	4	4	関係機関との協議はすでに予定されているものかと思うので、これらはしっかりと実施いただくことを期待する。 関係機関との協議などが、まちづくり体制づくりのどの部分に寄与しているかわかる指標があると計画全体の進捗の確認に役立つと考える。 アウトカム指標の設定	かしこまりました。 アウトカム指標の設定については、協議会でご協議いただきたいと思ます。		まちづくり拠点整備推進本部

	事務事業名 (総合計画の該当ページ)	事務事業内容	アウトプット指標(主たる予算事業の事業計画量)					アウトプット指標に関する委員からの意見	意見への対応内容(指標の説明)	参考資料	主担当課	
			項目名	基準値 (R3)	計画値							
				(R4)	(R5)	(R6)	(R7)					
29	トップチーム等連携事業 (P165)	市内を拠点に活動するトップチームとの協働により「ボールふれあいフェスタ」を実施します。また、トップチーム間でも連携できる仕組みづくりを行い、スポーツ振興やまちづくりに向けた体制の強化を図ります。	市内トップチーム等と連携し実施した事業数(件)	51 (R4)	51	57	63	69	基準値の内訳、計画値の設定根拠を確認したい(資料を共有してもらいたい)。 企業などが主体となって運営しているトップチーム等の場合、企業側の都合などによりトップチームの活動に影響(移転や終了など)が出ることが予想される。トップチーム等の翌年度以降の運営などについても十分ヒアリングしながら計画値に無理が生じないようにしてもらいたい。 トップチーム間での連携(たとえば、東芝とサントリーのラグビーチームと府中市の3者で連携)については、件数を別掲して計画したほうが良いのではないか。 これらの実施した事業数が具体的にスポーツ振興やまちづくりのどういった観点に寄与しているかわかるKPIがあると良いように感じた。 アウトカム指標の設定	基準値は参考資料のとおり。 計画期間において毎年、各チーム1事業の増加を図ることを目標として、各年6事業の増加を見込んで計画値を設定しています。 定期的に開催するトップチーム連絡会(仮称)等を通じて、各チームと連携を密にし、事業の実施に向けた調整等を図っていきます。 トップチーム間での連携については、競技を超えて、様々なチームの組み合わせが考えられるほか、東京都関連事業(Tokyo Unite)やチーム独自事業など、本市が事業の実施状況を捉えることが困難な取組等もあることから、原案のとおり本市と各チームとの連携した事業の数を計上・計画していきたいと考えています。 アウトカム指標の設定については、協議会でご協議いただきたいと思います。	P13-18	スポーツタウン推進課
30	観光資源の活用・創出による地域活性化 (P203)	(観光振興事業) 府中観光協会の専門性をいかした事業(観光コンテンツ・交流拠点づくり、市内外・国内外に向けたプロモーション、人材育成、受入環境整備等)に対する支援を行うほか、フィルムコミッション事業や近隣市との連携などの多様な主体による連携事業、外国人観光客誘致促進に係る事業を推進します。	府中市観光振興連絡会で検討し造成されたコンテンツ造成数(件/累計)	0	0	1	1	2	文章の流れから、上の項目と順番を入れ替えた方がよいのではないか、「〇〇の支援によるコンテンツ造成数」といった表現にした方が分かりやすい。	ご意見のとおり、入れ替えました。 「府中市観光振興連絡会で検討し造成されたコンテンツ造成数」と変更しました。	P19	観光プロモーション課
			フィルムコミッション事業撮影実施件数(件)	86	90	94	98	103	文章の流れから、下の項目と順番を入れ替えた方がよいのではないか。	ご意見のとおり、入れ替えました。	P19	観光プロモーション課
		(観光情報施設管理運営事業) 観光情報の発信・情報収集に努めるとともに、外国人観光客の受入環境の整備を図ります。	観光情報の発信・情報収集を担う観光情報センタースタッフ人数(人)	5	5	5	5	5	事業内容と指標の整合性が取れていないのではないか(事業内容の前文・後文のどちらを測る指標が分かりづらい)。 これまでに対応した外国人観光客から指標が設定されていると推察するが、外国人観光客に向けたInstagram等での発信活動(や収集活動)には何らかの指標を設けた方がよいのではないか。	事業内容の前文「観光情報の発信・情報収集に努める」に整合した指標と考えていますので、項目名に「観光情報の発信・情報収集を担う」を追加しました。 外国人観光客の受入環境の整備に関する指標は下の項目のとおり設定しました。なお、外国人観光客に向けたInstagram等での発信活動等は、観光振興事業において行ってまいります。		観光プロモーション課
	郷土の森観光情報センタースタッフ人数(人) 観光情報センターにおける多言語案内ツールの整備数(個)	2	2	2	2	2	事業内容と指標の整合性が取れていないのではないか(事業内容の前文・後文のどちらを測る指標が分かりづらい)。	事業内容の前文「観光情報の発信・情報収集に努める」に整合した指標と考えていますが、上の項目と重なるため、後文を測る指標として、「観光情報センターにおける多言語案内ツールの整備数(個)」に変更します。 基準値の内訳は、多言語翻訳機と映像通訳システム(タブレットを使ったテレビ電話による翻訳サービス)です。		観光プロモーション課		
31	府中の森芸術劇場管理運営事業 (P157)	施設の適正な維持管理・運営に努め、施設の老朽化等に伴う改修を計画的に実施します。	府中の森芸術劇場3ホールの延べ利用単位(単位)	1,744	1,970	1,970	0 (改修工事に伴う休館を予定)	1,970	事業内容と指標の整合性が取れていないのではないか(事業内容からすると下の指標(整備計画の進捗率)だけでいいのではないか、もしくは、この施設整備計画に、ホールの改修によって利用率を上げることが書かれているのであれば、記載を工夫した方がよい)。 劇場の運営においては、劇場に含まれるホールの利用単位を指標に含む案はアリかと思う。しかし、本指標だけでは劇場の適正な維持管理・運営ができていないか判断しなため、本指標に加えてさらに一段事業内容をブレイクダウンした指標を追加されることを期待する。 府中市内の学校等での利用や鑑賞などもあるかと思うので、それらについても見える化してはどうか。 収益事業の売上を指標とするのはどうか。 アウトカム指標	事務事業内容を大きく分けると、維持管理運営業務と施設改修の2つに分かれ、維持管理運営業務のアウトプット指標として当該指標を設定しています。 その他、維持管理運営業務を図るための適当なアウトプット指標が見当たりますが、適切な指標があればご提示いただければと思います。 府中の森芸術劇場は、市民の芸術文化活動の振興を図る文化施設の位置付けとなるため、教育に関する区分での集計はしていません。 アウトカム指標の設定については、協議会でご協議いただきたいと思います。		文化生涯学習課
			経年劣化による大規模改修等の施設整備計画の進捗率(%)	30	40	60	100	100	改修工事までの準備(40%)と改修工事(60%)で分けています。 改修工事までの準備については、H30劣化診断調査(10%)、R2改修内容等検討調査(10%)、R3基本設計(10%)、R4実施設計(10%)。 改修工事については、R5発注業務(20%)、R6施工業務(40%)としています。		文化生涯学習課	
32	全体に関するご意見							事業内容の詳細、指標数値の内訳(内容がイメージできないもの)、指標の変化理由を確認したい(資料を共有してもらいたい)。 事業内容と指標の整合性が取れているかを確認してほしい。 【確認】アウトプット指標を進捗率などの割合で設定されている項目については、年度をまたいで計画値に差のない項目(=進捗が前年度から変わらない項目)が複数ある。たとえば、RN年度に100%を達成し、RN+1年度(翌年度)も100%というような場合、RN年度にアウトプット指標として設定した項目は達成しているという解釈でいいか。	上記対応内容のとおり。 RN年度の100%達成はあくまでも単年度の達成であり、RN+1年度(翌年度)は事業実施量の低下により、100%未満に下がる可能性もありますので、一度100%になったらその項目は達成ではなく、同レベルの水準を維持していくことを表しています。			